

音更町総合計画推進委員会会議結果（要旨）

会議名	第5回音更町総合計画推進委員会
開催日時	令和5年1月25日（水） 午後6時30分から午後7時15分まで
開催場所	音更町役場庁舎3階 特別会議室
委員出席者	岡庭委員長、林委員長代理、石井委員、内形委員、河合委員、木野村委員、菅原（美）委員、菅原（博）委員、野久委員
オブザーバ出席者	北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課長 範囲氏
町側出席者	吉田企画財政部長、早苗企画課長、川村企画調整係長、杉本主任、横井主任、津久井まちづくり政策推進員、
傍聴者	なし
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議件 音更町第6期総合計画重点施策及び第2期音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策の審議結果の取りまとめについて 4 その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度第5回音更町総合計画推進委員会議案 ・ 資料1 第4年度総合計画推進委員会検証結果まとめ ・ 資料2-1 施策推進管理評価調書（総括表） ・ 資料2-2 施策推進管理評価調書（集計表）
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>【基本目標4について】</p> <p>委員：現在の除雪は、かき分け除雪の方法をとっているが、今後高齢化が進むにつれて、除雪スペースも少ない中、かき分け除雪後に自宅前に残った雪を除雪できるのが不安である。かき分け除雪を導入した経緯もあると思うが、現地に合った除雪の仕方について検討していただければもっと住みよいまちになるのではないかと思う。</p> <p>事務局：追加の意見として承りたいと思う。</p> <p>【調書に関して】</p> <p>委員：もっとシンプルに分かりやすい調書にはならないだろうか。我々町民が見たときに、施策が達成してるのか、よりよいまちづくりに近づいているのかをチェックする項目や基準について、改善を検討していただきたい。評価の仕方は事務局で提示されていると思うが、今後可能であれば、チェックの項目等検証の仕方についても委員会に諮っていただけたらと思う。</p> <p>事務局：昨年度は所管部局の主観的な自己評価をもとに検証をお願いしていたが、昨年度の委員の皆様からご意見等をいただき、今年は評価調書の見直しを行っている。評価しやすい定量的な数値を導入したことにより、視覚的に評価がしやすいこととなっていると思う。新評価調書についての説明を第1回目の推進委員会でさせていただき検証を行ってきた。委員のご意見も分かるが、新評価調書での検証1年目であり、見直すことは難しいため、ご意見として承りたいと思うが、引き続きこの評価調書で検証いただきたい。</p> <p>【基本目標2について】</p> <p>委員：郷土資料室のリニューアルに向け、郷土資料室の名称変更が検討されているが、検証結果のまとめに間に合うのであれば新しい名称で記載をお願いしたい。</p>

委員：郷土資料室を見学し音更の魅力を知った人が、よつ葉のバターや牛乳など、いろいろな物を買いたいと思った時にふるさと納税を活用して即座に購入できるような仕組みがあったら良いと思う。ポータルサイトを活用し、ふるさと納税した人が十勝川温泉に安く泊まれるなどの工夫もできるのではないかと思う。積極的にチャレンジをお願いしたい。

委員：ニセコか倶知安などで観光客がふるさと納税をし、もらった地域クーポンを活用していたと思う。似たような先行事例を参考に進めていただきたい。

事務局：これまでもこれからも、ふるさと納税の寄附金は有効な財源として活用させていただいている。今後ますます謝礼品の数を増やしてより多くの寄附をいただけるように努力をしていきたい。簡単に寄附ができるような仕組みを構築できれば利用者も寄附しやすいと思うが、技術的に可能か導入に向けて検討していきたい。

委員：ふるさと納税は町外の人が寄附をした際に返礼品をお渡しすることであるが、町内の人は寄附が可能であっても返礼品はもらえない。返礼品までとは言わないが、何か町民にプラスになるものがあると良いかと思う。

事務局：町民の方へは、制度上返礼品のお渡しは難しい。昨年のなつぞらのふる里のオープンでは、事前に町民に寄附を募り、寄附いただいた人にはなつぞらのふる里に掲示する銘板に名前を彫り、掲示するというを行った。やり方は色々あると思うが町民の方も寄附ができるような環境を考えていきたいと思う。

委員：議事録のみの掲載でよいが、郷土資料室のリニューアルオープンは令和5年度であるが、可能であれば郷土資料室を農商工観連携の要の一つとして活用していただけるように検討していただきたい。